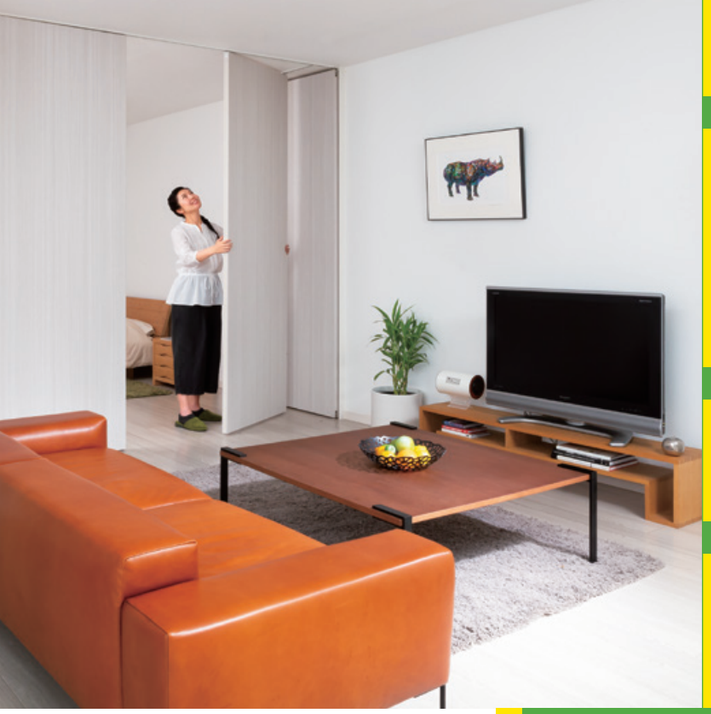
ATOM LIVINTECH IR NEWS

第67期中間報告書

令和2年7月1日～令和2年12月31日



経営理念

「住まいの飾り職人」が
つくり出す独創的な商品で、
社会の発展に貢献します

社　訓

「独り歩きのできる商品づくり」

社　是

「創意・誠実・進取」

社名の由来

創業者は江戸指物（鏡台、茶箪笥、長火鉢等）の金具職人、即ち繊細な装飾と微妙な細工の技術を要する錺職でした。

社訓は、創業者の遺した言葉に基づくものであります。

「独り歩きのできる商品」とは、販売に際して、巧言令色や誇大な表現を添えずとも「ひと目でその価値が相手に伝わる商品」を指します。

当社の社是は、ご覧の通りですが、企画開発を旨とする企業として「創意・進取」は元より、独り歩きのできる商品であればこそ、販売に際して「誠実」が貫き得ると考えております。

また社名の冒頭に冠した「アトム」は設立以来の商標であり、内装金物の分野で、業歴相応の認知と浸透を得ております。

以下に続く「リビンテック」には、ご説明の要もない「リビングテック」の他に、まさしく「技術に生きる=リブ・イン・テック」の意味が篭められており、併もその技術とは、当社がファブレスメーカーであるだけに、単なるハードウェアのみならず、ソフトウェアをも包含する「ノウハウのメーカー」であり続けたいという思いを表しております。

第67期第2四半期累計期間の業績について ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第67期中間報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。まずは、新型コロナウイルスに感染された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い回復と感染症の感染拡大が早期に収束することを心より願っております。

新型コロナウイルス感染症「第三波」が到来する中、当社の関連する住宅市場においては、低水準にある住宅ローン金利や過去最大規模の住宅ローン減税、すまい給付金など、政府による各種住宅取得支援策が下支えしたものの、新設住宅着工戸数の減少傾向が続いたことに加え、コロナ禍に対する不安から住宅取得マインドは低下いたしました。さらには、建設業界における慢性的な人工不足や需要の変化に伴う建設資材の価格および物流費の高騰が続くなど、住宅業界を取り巻く環境は依然として厳しく、本格的な市場の回復に未だ至らない水準で推移いたしました。

このように新型コロナウイルス感染症の拡大が経営環境に甚大な影響を及ぼす中、当社では、お客様をはじめとする関係各位の健康と安全の確保および事業活動の継続に向けて、昨年4月の「春の新作発表会」に続き、同10月に開催を予定していた「秋の内覧会」の中止を決定するとともに、各ショールームにおいては事前予約制で運用、さらには、営業活動の自粛ならびにテレワークやオンラインでの打ち合わせを推奨するなど、新型コロナウイルス感染症拡大の抑制に必要な対策を講じつつ、当期を最終年度とする「第10次中期経営計画（第65期～第67期）」で掲げた「自己改革を追究する企業風土の承継と発展」をスローガンに、「将来の発展を支えうる経営基盤の確立と進化」を基本方針として、「内装金物（住まいの金物）の全般」を自社ブランドで網羅する「住空間創造企業」を目指し、当社独自の「ものづくり」と営業戦略を推進するとともに、販売費および一般管理費の圧縮など、調整かつ管理可能な諸施策を講じて、困難な市場環境に対応し得る営業体制とこれらを支える管理体制の強化を図るべく、当面する各々の課題に取り組んでまいりました。

こうした取り組みの結果、第67期第2四半期累計期間の業績は、売上高48億23百万円（前年同期比12.9%減）、営業利益3億29百万円（前年同期比25.5%減）、経常利益3億36百万円（前年同期比26.2%減）、四半期純利益2億15百万円（前年同期比24.6%減）となりました。

今後も当社は、「住空間創造企業」としての独自性を追求し、117年に及ぶ歴史で培ってきた価値観や行動規範などの「伝統」を活かしながら、新設住宅着工戸数に依存しない事業構造への転換も見据えつつ、ウィズコロナ時代に対応する事業スタイルの確立を目指し、全社一丸となって「変革」に挑み続けてまいります。

令和3年3月

代表取締役社長　髙橋 快一郎

経営環境に左右されにくい事業構造の構築と、機動的かつ柔軟な事業戦略が奏功し、業績予想を上回る収益を確保することができました。

第67期中間期の取り組みと業績について

コロナ禍の中、より現場主義に徹した商品開発と商品の認知度向上および販路拡大を目指した営業活動を展開いたしました。

コロナ禍からくる住宅取得マインドの低下に加え、中長期的には性能の向上による住宅の長寿命・高耐久化や少子高齢化による世帯数の減少など、新設住宅着工戸数の縮小に対する重なる懸念は拭いきれず、住宅市場ならびに住宅関連市場を取り巻く環境は依然として厳しく、新型コロナウイルス感染症の収束と消費性向および所得環境の改善がさらに拡大浸透しなければ、顕著な回復には至らないと思われます。その一方、将来的には急速に広まるテレワーク需要を踏まえた既存住宅の改修やワーキングスペースの拡大、郊外への住み替え需要、さらには抗菌・抗ウイルスや非接触商品への対応など、新生活スタイルを取り込んだ一定の住宅ニーズもあり、コロナ禍においては、経営環境に左右されにくい事業構造の構築が必須になっていると考えております。

こうした市場動向を踏まえ、商品戦略については、日々高まるお客様のご要望にきめ細かく対応し、より現場主義に徹した、柔軟で機動力のある商品開発を具現化すべく、「営業設計グループ」を主軸に、当社独自の機能を内包するソフトクローズ関連商品の拡充と浸透に注力してまいりました。また、コロナ禍を見据えた商品開発では、住宅屋内用自動ドア「リニアエンジンMM30」に、手をかざすだけで引戸の開閉が可能な非接触型のクリーンスイッチをオプション機能として追加販売するとともに、リビングや寝室の一角をパネルで仕切り書斎を設けるなど、リモート空間の構築に最適なSW SYSTEM 移動間仕切り「SW-900」の充実を図ってまいりました。

市場戦略については、新型コロナウイルス感染症拡大を抑制する観点から、営業活動に一定の制限が課せられる状況ではありましたが、営業本部直轄の「販売促進グループ」において、当社商品の認知度向上と販路拡大を目指した営業支援活動を継続してまいりました。また、当社の情報発信基地としての性格を持つアトムCSタワーでは、「空間提案」として位置づけた「LIVIN' ZONE」を中心に、コロナ収束後に備えた事業展開を推進するとともに、オンライン上での問い合わせなどへ積極的に対応してまいりました。

情報システム戦略については、当社の経営管理システムを支える「統合型業務ソフトウェア」の継続的なバージョンアップを実施し、業務効率と経営効率の一層の向上を図ってまいりました。加えて、ホームページ内の「atom動画ぎゃらりー」で機能商品を中心とした紹介動画の拡充を行うとともにYouTubeでも配信し、さらには、「オンラインショップ」でネット通販の整備を進め、SNSを積極的に活用した販売支援活動の拡充に努めました。

こうした取り組みを推進した結果、2020年9月11日付けで開示した第67期の通期業績予想に対しては、売上高で計画を上回る業績を確保し、各利益段階でも大幅な増益を示すことができました。この結果を受け、2021年1月25日付けで中間期業績の上方修正を、同年1月28日に通期業績見通しの上方修正ならびに配当予想の修正（増配）を開示いたしました。コロナ禍においても、このような業績を確保できた要因として、これまで当社が取り組んできた経営環境に左右されにくい事業構造の構築に加え、機動的かつ柔軟な創意工夫に溢れた事業戦略が奏功したものと考えております。

中長期的観点からの取り組みについて

ウィズコロナ時代に呼応した事業スタイルの確立を目指し、「変革」に挑み続ける事業展開が喫緊の課題です。

新型コロナウイルス感染症が世界的規模で蔓延し、当社の関連する国内住宅市場においても先行き不透明かつ厳しい状況が続くものと思われますが、手をこまねいていては企業としての持続的発展はありえません。時代が求める本質的な要求を迅速に見極め、柔軟な発想と高い技術力を活かした事業展開を図る必要があります。このため、117年の社歴で培ってきた価値観や行動規範などの「伝統」を活かしつつ、「住空間創造企業」を目指して「変革」に挑み続けることが喫緊の課題であると考えております。縮小傾向にある新設住宅市場や生活スタイルの変化に対応するリフォーム・リノベーション市場の動向などとともに、住宅産業のみならず、非住宅分野への展開など、新設住宅着工戸数に依存しない事業構造への転換も見据えつつ、ウィズコロナ時代に呼応した事業スタイルの確立を目指してまいります。

第10次中期経営計画につきましては、第66期の中間期までは、数値目標を含め、概ね達成しておりましたが、コロナ禍の影響を受け始めた第66期の第4四半期以降からの急激な経営環境の悪化によって、中期経営計画の目標を変更せざるを得ない状況となりました。また、新型コロナウイルス感染症の「第三波」到来により、第67期下半期以降もさらに過酷な経済的・社会的状況が続くと想定されますが、現下の情勢に即応できる柔軟で機動性のある事業展開がキーポイントとなってまいります。緊急事態の中で得た知見や経験をもとに、次期中期経営計画につなげるためのしっかりとした土台づくりを第10次中期経営計画の期間中に成し遂げたいと考えております。

また、西日本市場の強化と深刻化する物流コストの高騰、自然災害によるリスク分散など、物流拠点の複数化を目的に推進してまいりました「広島営業所・C/Dセンター」において、管理運用する商品を徐々に増やしつつ、商品供給面での顧客満足度・サービスの維持向上に努め、コロナ禍における強固なサプライチェーンの構築に努めていきたいと考えております。

株主の皆様へのメッセージをお願いします

株主の皆様とのコミュニケーションを大切に、ご期待に応える業績と株主利益の向上に努めてまいります。

株主や投資家の皆様との密接かつ円滑な意思疎通を重視する当社では、ホームページ内の「株主・投資家情報サイト」でのタイムリーな情報開示などを通じ、当社の経営理念や経営施策をより良くご理解いただくための情報を発信してまいりました。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、2020年の「日経IR・個人投資家フェア」への出展は取りやめることといたしましたが、多様なメディアを通じてのIR活動を展開してまいりました。これからも当社は、株主と投資家の皆様とのコミュニケーションを深める取り組みを進めてまいります。

また、当社では、株主利益の向上を図る観点から、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、株主の皆様に対する利益還元を最重要課題として捉え、積極的な配当の実現を基本方針に掲げてまいりました。こうした観点から、株主の皆様への配当金については、「年間配当金は利益水準のいかんに関わらず、最低でも1株当たり30円の配当を維持する」ことを目標とする第10次中期経営計画の基本方針に則り、年間配当金1株当たり30円（中間配当金15円、期末配当金15円）をお約束してまいりましたが、当中間期の配当金につきましては、日頃よりの株主の皆様のご支援にお応えすることと併せて、計画を上回る業績を確保できたことを勘案し、1株当たり16円50銭（1円50銭の増配）とさせていただき、期末配当金についても1株当たり16円50銭（1円50銭の増配）との予想を2021年1月28日付けで発表させていただきました。加えて、前期より開始した「株主優待制度」を維持・継続し、株主の皆様のご支援にお応えすべく全社一丸となって業績と株主利益の向上に努めてまいります。株主ならびに投資家の皆様におかれましては、引き続き、当社の経営方針ならびに経営施策に対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新社長ごあいさつ

住空間創造企業を目指し、「伝統」を活かしながら、「変革」に挑む

改めてのごあいさつになりますが、このたび、私が当社の五代目として事業を受け継ぐことになりました髙橋快一郎でございます。ご承知のように新型コロナウイルス感染症が世界的規模で蔓延し、政治・経済をはじめ、人々の暮らしに多大な影響をもたらしています。当社の関連する住宅市場においても、2020年度の新設住宅着工戸数は前年に続いて大きく減少し、持家や分譲住宅も前年割れに転じるなど、低調に推移している状況です。

こうしたコロナ禍の長期化が懸念される中、新しい基準や価値観への移行が顕著になり、住宅市場が低調に推移しているこのタイミングで、社長に就任したことは厳しくもありますが、むしろチャンスではないかと捉えております。住宅業界を取り巻く環境においても、かつてない規模と速度で急変しつつありますので、時代が求める本質的な要求を迅速に見極め、柔軟な発想と高い技術力を活かし、お客様にご満足いただけるサービスを提供し続ける企業を目指したいと考えています。その実現のために、社員一人ひとりが自覚と責任を持ち、積極的に活動できる環境づくりに努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を重ねてお願い申し上げまして、社長就任のごあいさつとさせていただきます。

Profile

昭和54年生まれ。平成16年入社。平成24年上海阿童木建材商貿有限公司董事長。
平成29年ATOM LIVIN TECH VIETNAM COMPANY LIMITED Chairman。
平成29年取締役副社長管理業務管掌・海外事業統括。令和2年代表取締役社長就任（現在）。

製品のご紹介

「住空間創造企業」を目指す当社では、コロナ禍で求められる「新しい生活様式」を住宅面からサポートする付加価値の高い商品をはじめ、高機能なソフトクローズ関連商品の拡充を図りました。

提案 1　SW SYSTEM 移動間仕切り SW-900

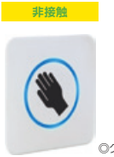
家族構成や生活様式の変化に応じ、フロアの間仕切りをフレキシブルに変えることができる、移動間仕切りシステムです。たとえば、リビングや寝室の一角をパネルで仕切って書斎を設けるなど、リモートワーク空間の構築が可能。コロナ禍において定着しつつある在宅勤務に対応できる付加価値の高い商品です。また、オフタイムにはパネルを一ヶ所に収納でき、開放感をそこなわずにひとつのリビングとして広く快適に過ごすことができます。

◎リモートワーク時

◎オフタイム時

使い方ガイド
動画はこちらから
スマートフォンでご覧いただけます

提案 2　住宅屋内用自動ドア リニアエンジン MM30



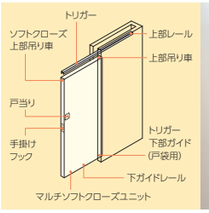
◎クリーンスイッチ

見た目はまるで、ふつうの引戸。じつはリニアモーター内蔵のため、わずかに力を加えるだけで自動開閉します。人や障害物を感知する機能も搭載し、指はさみなどの事故予防にも繋がります。モーターやコントローラーは引戸上部のレールに内蔵されているため見た目もすっきり、メンテナンスも簡単。引戸下部はフラットなつくりになっているため、つまずく心配もなく、車椅子も通れます。また、停電時には手動でスムーズに開閉可能で、もしものときにも安心です。今回、手をかざすだけで引戸の開閉が可能な非接触型のクリーンスイッチをオプション機能として追加販売しました。戸に直接手を触れる機会を減らすことができるため、ご家族間の感染対策にもおすすめです。

使い方ガイド
動画はこちらから
スマートフォンでご覧いただけます

提案 3　AFD SYSTEM マルチソフトクローズ戸袋納まり

引戸の戸先上部に「ソフトクローズ上部吊り車」、戸先下部には「マルチソフトクローズユニット」を使用することにより、開けるときは枠より約120mm手前で、閉じるときは枠より約50mm手前でソフトクローズが作動します。作動ユニット部分がすべて戸先側に取り付けられるため、戸を吊ったままユニットの脱着が可能で、戸袋納まりにおいても優れたメンテナンス効果を発揮します。今後、アウトセット引戸や移動間仕切りシステムなど、マルチな使用への展開を検討しています。



施工ガイド
動画はこちらから
スマートフォンでご覧いただけます

YouTubeチャンネル開設のお知らせ

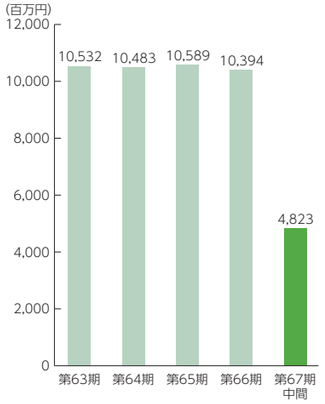
当社では、お客様からのニーズにお応えするため、2020年10月15日、YouTubeにてアトムリビンテックの公式チャンネルを開設いたしました。こちらのチャンネルでは、より幅広い層への深耕を図るため、機能商品を中心とした製品紹介や設計施工ガイドなどを動画でお届けいたします。今後も順次コンテンツを公開してまいりますので、是非ご覧ください。

施工動画

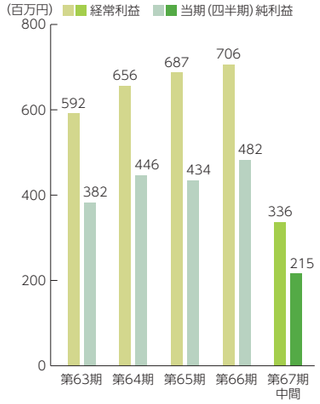
アトムリビンテックチャンネル

「アトムリビンテックチャンネル」はこちらから …… https://youtube.com/channel/UCHUfmXwpfvfEIWqXtDChhrg

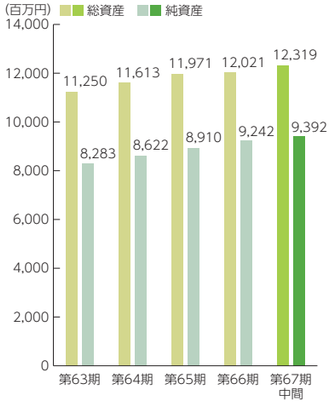
● 売上高



● 経常利益／当期(四半期)純利益



● 総資産／純資産



● 主要経営指標

	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期中間
売上高営業利益率(%)	5.4	6.0	6.3	6.6	6.8
総資本営業利益率〔ROA〕(%)	5.6	5.5	5.6	5.7	2.7
自己資本利益率〔ROE〕(%)	4.7	5.3	5.0	5.3	2.3
流動比率(%)	289.4	286.7	282.3	298.9	284.3
固定比率(%)	43.9	47.0	49.1	52.3	53.3
自己資本比率(%)	73.6	74.2	74.4	76.9	76.2
1株当たり純資産額(円)	2,076.1	2,161.2	2,233.4	2,316.5	2,354.1
1株当たり当期(四半期)純利益(円)	95.8	112.0	108.9	121.0	54.0
1株当たり(中間)配当額(円)	30.00	30.00	35.00	35.00	16.50
配当性向(%)	31.3	26.8	32.1	28.9	30.5

※第65期より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を適用したため、第64期については遡及適用後の数値を記載しております。

四半期損益計算書

単位：千円（千円未満切り捨て）

科目 ＼ 期別	前第2四半期累計期間（自 令和元年7月1日 至 令和元年12月31日）	当第2四半期累計期間（自 令和2年7月1日 至 令和2年12月31日）	前期（自 令和元年7月1日 至 令和2年6月30日）
売上高	5,538,230	4,823,878	10,394,001
売上原価	3,970,017	3,444,962	7,438,187
売上総利益	1,568,212	1,378,916	2,955,813
販売費及び一般管理費	1,125,121	1,048,929	2,274,922
営業利益	443,091	329,986	680,890
営業外収益	14,583	12,853	31,658
営業外費用	2,072	6,706	6,407
経常利益	455,602	336,133	706,141
特別利益	–	–	–
特別損失	387	0	387
税引前四半期（当期）純利益	455,214	336,133	705,754
法人税、住民税及び事業税	165,930	109,299	216,118
法人税等調整額	3,481	11,295	6,864
四半期（当期）純利益	285,802	215,538	482,770

Point

営業利益

販売費及び一般管理費の圧縮に努めたものの、コロナ禍による売上総利益の減少により、前年同期比113百万円の減益となりました。

四半期貸借対照表

Point

現金及び預金

譲渡性預金1,800百万円を有価証券に区分しております。その他増減の詳細につきましては、キャッシュ・フロー計算書のコメントをご参照ください。

Point

有価証券

譲渡性預金が前期末に比べ1,800百万円の増加となりました。

単位：千円（千円未満切り捨て）

科目 ＼ 期別	前期（令和2年6月30日現在）	当第2四半期（令和2年12月31日現在）
（資産の部）		
流動資産		
現金及び預金	4,455,677	2,621,978
受取手形及び売掛金	1,817,537	1,939,385
電子記録債権	359,010	379,203
有価証券	－	1,800,000
商品	523,492	493,401
その他	36,590	29,931
貸倒引当金	△217	△231
流動資産合計	7,192,091	7,263,667
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,191,320	1,168,292
工具、器具及び備品（純額）	118,816	157,458
土地	1,161,285	1,161,285
その他（純額）	13,537	10,467
有形固定資産合計	2,484,960	2,497,503
無形固定資産	32,764	41,043
投資その他の資産		
投資有価証券	2,184,412	2,395,628
その他	133,613	132,362
貸倒引当金	△6,034	△10,733
投資その他の資産合計	2,311,991	2,517,257
固定資産合計	4,829,716	5,055,804
資産合計	12,021,808	12,319,472

単位：千円（千円未満切り捨て）

科目 ＼ 期別	前期（令和2年6月30日現在）	当第2四半期（令和2年12月31日現在）
（負債の部）		
流動負債		
支払手形及び買掛金	539,350	658,430
電子記録債務	1,571,126	1,610,291
未払法人税等	112,997	118,440
その他	182,851	186,699
流動負債合計	2,406,325	2,573,861
固定負債		
退職給付引当金	147,815	137,207
役員退職慰労引当金	222,595	213,075
その他	2,800	2,800
固定負債合計	373,211	353,082
負債合計	2,779,537	2,926,943
（純資産の部）		
株主資本		
資本金	300,745	300,745
資本剰余金	273,245	273,245
利益剰余金	8,705,541	8,851,257
自己株式	△64,554	△64,554
株主資本合計	9,214,976	9,360,692
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,294	31,835
評価・換算差額等合計	27,294	31,835
純資産合計	9,242,271	9,392,528
負債純資産合計	12,021,808	12,319,472

四半期財務諸表

四半期キャッシュ・フロー計算書

単位：千円（千円未満切り捨て）

科目 ＼ 期別	前第2四半期累計期間（自 令和元年7月1日 至 令和元年12月31日）	当第2四半期累計期間（自 令和2年7月1日 至 令和2年12月31日）	前期（自 令和元年7月1日 至 令和2年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	326,738	343,702	626,984
投資活動によるキャッシュ・フロー	△588,235	△307,563	△689,426
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,820	△69,221	△139,623
現金及び現金同等物に係る換算差額	133	△617	△72
現金及び現金同等物の増加（△減少）額	△331,183	△33,699	△202,138
現金及び現金同等物の期首残高	4,657,816	4,455,677	4,657,816
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	4,326,632	4,421,978	4,455,677

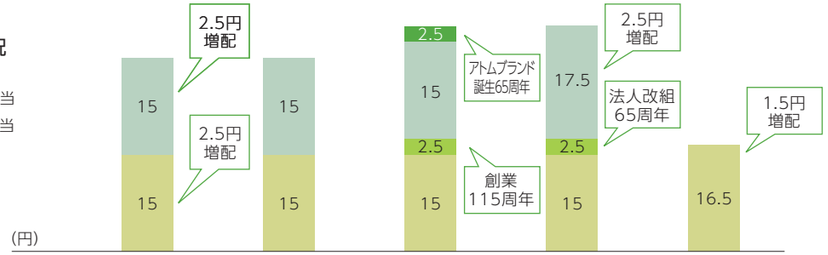
Point
営業活動によるキャッシュ・フロー
主な資金増加要因は、税引前四半期純利益336百万円、減価償却費78百万円、仕入債務の増加額159百万円等によるものです。また主な資金減少要因は、売上債権の増加額141百万円、法人税等の支払額103百万円等によるものです。

Point
投資活動によるキャッシュ・フロー
商品開発の金型など有形固定資産の取得による支出93百万円、投資有価証券の取得による支出201百万円等によるものです。

Point
財務活動によるキャッシュ・フロー
配当金の支払額69百万円によるものです。

配当状況

●1株当たり配当状況



	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期中間
1株当たり年間（中間）配当	30	30	35	35	16.5
配当性向	31.3%	26.8%	32.1%	28.9%	30.5%

株式の概要

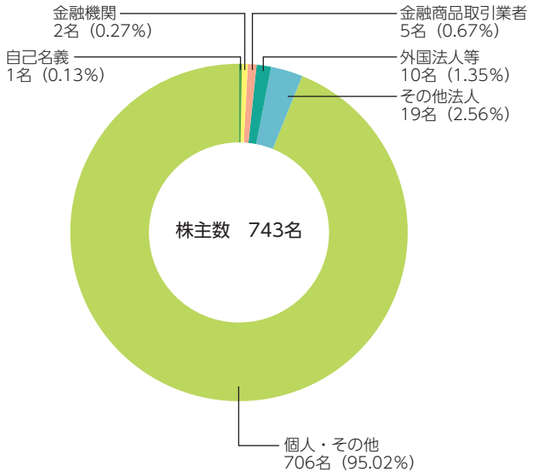
● **株式状況**（令和2年12月31日現在）

発行可能株式総数	15,420,000株
発行済株式の総数	4,105,000株
株主数	743名

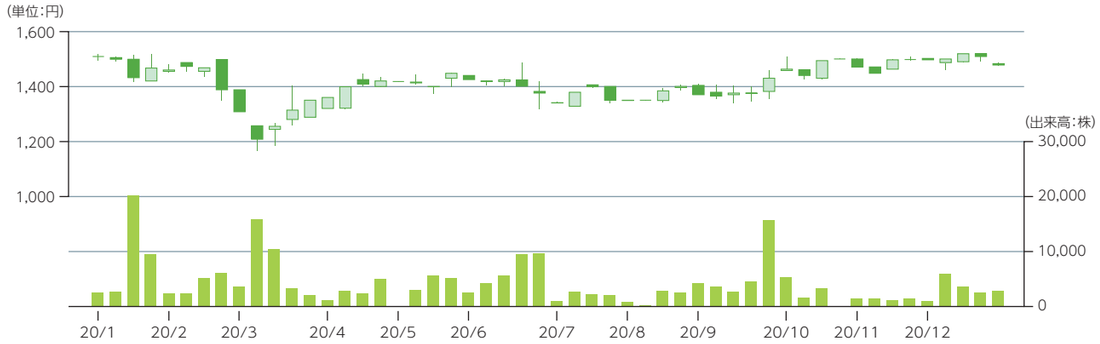
大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況 持株数(株)	持株比率(%)
髙橋不動産株式会社	885,440	21.56
髙橋　快一郎	500,000	12.18
アトムリビンテック取引先持株会	417,800	10.17
髙橋　良一	290,000	7.06
アトムリビンテック従業員持株会	243,660	5.93
髙橋　壽子	157,000	3.82
アトムリビンテック株式会社	115,180	2.80
大塚　李代	88,800	2.16
磯川産業株式会社	81,500	1.98
岡崎　衛	75,100	1.82

● **株主の所有者別分布状況**（令和2年12月31日現在）



株価および出来高の推移



会社概要 （令和2年12月31日現在）

商号	アトムリビンテック株式会社
創業	明治36年
設立	昭和29年10月
事業内容	家具用金物・建具用金物・陳列用金物等、 住まいの金物全般の企画・開発・販売
主要取引銀行	株式会社みずほ銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三井住友銀行
従業員数	124名 （嘱託4名・パート8名含まず）

役員 （令和2年12月31日現在）

取締役会長	髙橋 良一
代表取締役社長	髙橋 快一郎
常務取締役	鈴木 英光
取締役	伊藤 友悌
取締役	池井 正彦
取締役	山口 俊
常勤監査役	金子 豊
監査役	輿水 洋一
監査役	高島 良樹

事業所一覧 （令和2年12月31日現在）

本社
〒110-8680 東京都台東区入谷1丁目27番4号 TEL 03-3876-0600

アトムC/Dセンター（商品本部）
〒340-0022 埼玉県草加市瀬崎4丁目15番19号 TEL 048-922-5551

札幌営業所
〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東3丁目28番32号
井門札幌東ビル1F TEL 011-748-3113

前橋営業所
〒371-0805 群馬県前橋市南町3丁目72番7号 TEL 027-223-2651

広島営業所・C/Dセンター
〒733-0037 広島県広島市西区西観音町8番地6 TEL 082-291-4235

アトムCSタワー
〒105-0004 東京都港区新橋4丁目31番5号
アーバンスタイル事業部 TEL 03-3437-3673
ショップ&ショールーム亜吐夢金物館 TEL 03-3437-3440

アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所
〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18番地5 TEL 06-6821-7281

海外拠点 （令和2年12月31日現在）

子会社：ATOM LIVIN TECH VIETNAM COMPANY LIMITED
（ベトナム社会主義共和国）

子会社：上海阿童木建材商貿有限公司（中華人民共和国）

ホームページも是非ご覧ください。

https://www.atomlt.com/

企業・財務情報をはじめ商品情報・オンラインショップなど、さまざまなコンテンツをご用意しております。是非ご覧ください。

シリーズ企画
アトムCSタワー 最前線 SPECIAL ISSUE

ギャラリーショップ KANAGU

ギャラリーショップ KANAGUは、生活文化にこだわりを持ち、心豊かな暮らしを求める人が職人の技によるインテリア雑貨などを実際に手にとって体感し、購入することができるギャラリーショップです。

ギャラリーショップ KANAGUのコンセプトは、モノとモノ、モノとヒト、ヒトとヒトをつなぐ「暮らしの飾り金具」。画一的な大量生産、大量販売、使い捨て的な商品ではなく、職人の魂や技と、生活者の暮らしの美学が出会い、対話するスローショッピングを目指しています。

KANAGU

堀田真澄「Christal ART」特別展示販売を開催

当社広報誌「ATOM NEWS」の表紙イラストを209号からお願いしておりますクリスタルアートデザイナー堀田真澄さんにスポットを当てた展示販売を、2020年12月4日から25日までの期間限定で開催いたしました。
クリスタルアートは、お客様にもっと気軽にアートを生活に取り込んでほしい、ファッション感覚でアートを楽しんで身につけてほしいという思いから生まれました。また、クリスタルアートアクセサリーは、ガラスのパーツやスワロフスキー社製のクリスタルに、精緻なアートを施した、すべて手描きによる一点もののアクセサリーです。堀田さんの作品は、「ファッション&アート」をコンセプトに、生活へ身近に溶け込む雑貨などにもデザインを落とし込み、クリスタルアート独自の世界観を表現しています。また、お客様のご要望に寄り添った、さまざまなモチーフへの挑戦、オーダーメイドも行っております。今回の展示では、「ATOM NEWS」210号の読者プレゼントにもなった「クリスタルアート・オリジナルデザインプレート」も販売いたしました。
なお、堀田さんの作品は、クリスタルアートアクセサリーを中心に、ギャラリーショップ KANAGUでお買い求めいただけます。お近くにお越しの際は、一度お立ち寄りいただき、クリスタルアートの世界に触れてみてはいかがでしょうか。

Profile

堀田 真澄 ほった ますみ

1982年東京生まれ。東京家政短期大学服飾学科卒業。ダブルスクールでメルダス研究所卒業。卒業後、アパレル会社で企画デザイン担当。2000年より自身のブランド「LOVE GIRLS HEART」をスタート。作品の委託販売を始めると同時に、年1回のペースで個展を開催。2008年よりブランド名を「Christal ART」に変え、クリスタルアートの仕事をメインに始動。現在はアトムCSタワーの他、渋谷ヒカリエ、東京ソラマチなどにも出店。

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月に開催
配当金受領株主確定日	毎年6月30日 中間配当金を支払うときは毎年12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711（通話料無料）
（郵送先）	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所　ジャスダック市場
公告掲載新聞	日本経済新聞

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

住まいの飾り職人
ATOM LIVINTECH
アトムリビンテック株式会社

〒110-8680　東京都台東区入谷1-27-4　TEL 03(3876)0600(大代表)
ホームページ　https://www.atomlt.com/

UD FONT 見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォントを採用しています。
VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080